

ひたむきに ひたすらに

県政報告

県土都市整備常任委員会・公社事業対策特別委員会

令和4年(2023)
春号
VOL.240
緑区

国～県～市連携

市会議員と
総合防災訓練

新藤元大臣と街頭演説

政治



高橋まさお

県政活動資料



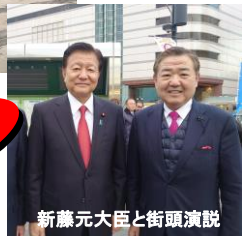
駅頭「東浦和駅」

高橋まさお

県政活動資料



村井衆議院議員と駅頭「浦和駅」



高橋まさお

県政活動資料

早朝駅頭
東奔西走
初志貫徹

春のあいきつ



駅頭「美園駅東口」

働く働くたくさん働きます



年の初めの覚悟
少々異常といえる働き過ぎの365日まーちゃん。でも、性分は変えられないので、生涯続けようと思う。そのための健康管理
や体力維持は必要だ。
若さを求めて、ストレッチ、文化調査、芸術体験や探訪を続ける。
新年の挨拶 自宅

元気に働く

参拝の順番待ち時間 たつぷり



初詣
地元神社 宮本の氷川様
正月元旦に、三室・宮本の氷川神社へ一人新年初参りした。四年前まで毎年、未っ子の亡きまー君と一緒に、お参りしていたお宮だ。氷川女体神社 三室
参詣者の皆さんの多いことに驚いた。もともと、どこへ行っても、この出が増えた感あり。



駅頭「浦和駅東口」

春のあいきつ



駅頭「美園駅西口」

高橋まさお

県政活動資料

- 浦和市中尾(現、さいたま市緑区)生まれ 原山幼稚園・尾間木小・東浦和と浦和南高を経て 中央工学校建築科卒
- 資格 一級建築士・宅地建物取引士 被災建築物応急危険度判定士
- 小中学校PTA会長・市P連会長、商店会長 社会教育委員、女性政策推進協議会 行政改革推進懇話会・県都市計画審議会 県国土利用計画審議会・農業業会議自治会長、消防団員、自主防災本部長
- 現職(社)埼玉県建築士事務所協会顧問(社)埼玉県宅建業協会浦和支部顧問 ボーイスカット205団育成会顧問、他
- 議会 副議長経験・監査委員経験 現/予算委員会副委員長

緑区代表 埼玉県議会議員 高橋政雄

春のごあいさつ
新たな芽吹きと温かな風が心潤す素適な春がやって参りました。地域の皆さまには、日頃から高橋政雄の地域活動に温かいご支援とご理解をいただきまして、深く感謝申し上げます。

今、世界では、未だ猛威をふるうコロナウイルス感染禍、ロシアによる理不尽なウクライナ侵略、中国の高圧的で露骨な覇権姿勢。恐怖と不気味な出来事が次から次へ、混沌とした状態が続いている。

今を生きてる私たち大人世代は、こんな不安な体験を子供たちへ望みたくはない。普通の平穏で平和な世界を強く望みたい。

私の心は常に地元にあります。「高橋まさお」は、地域の皆様お一人おひとりと心を共にして、今後とも大いに汗を流して働いてまいります。

令和五年春
高橋政雄



「大北神社」設計監修作品

H.Pブログ 毎日更新
「まーちゃん日記」
県政110番
埼玉県議会議員
高橋まさお
県政活動資料

埼玉県議会議員

高橋まさお

〒336-0932 さいたま市緑区中尾270

PHONE 048-873-4369

FAX 048-873-8489

http://www.marchan.jp



県政事務所

—私の最大の政治課題—

大学附属病院の建設「緑区/美園」

夢はビッグプロジェクト!!



本年度12月定例県議会

<12/14>

12月の県議会にて、締めくくりに演壇に立った。県に対して鋭く質問・提言。「グローバル有能人材の、文化芸術立県、大学附属病院の建設、発達障害への…」高橋政雄の熱い提言・質問～知事の答弁、知事と一対一の真剣勝負。(写真/左)「地域の声を県政に！」

12月の「本会議質問」

質問・提言、答弁 大学病院



- あいさつ
 - ・働き盛りの高齢者、元気に格好良く質問を始めます。
- ①グローバル有能人材の育成
 - ・グローバル思考の若者への留学支援の今とこれから。
 - ・県職員員のグローバル人材の育成。
 - ・県をリードする形でグローバル人材を育てませんか。
 - △答弁者△知事
- ②文化芸術の埼玉県・人づくり
 - ・多くの施設と総合力で子供たちへの文化芸術の教育を拡大していくことを望みます。
 - ・我が国の誇り、国力を。知事どう考えますか。
 - △答弁者△知事
- ③大学附属病院の建設
 - ・重要な事業なので知事におたずねします。
 - ・順天堂大学浦和美園キャンパスの整備を着実に進める為の決意をお示し頂きたい。
 - △答弁者△知事
- ④埼玉スタジアム2002の延伸について
 - ・令和5年度の鉄道事業者要請にどのような課題が。県と市はどのように連携して取り組んでいくのか。延伸に向けての知事の意気込みを聞かせて下さい。
 - △答弁者△知事
- ⑤発達障害への理解
 - ・発達障害には4つの症状があるようです。
 - ・発達障害児・障害者を保育所、幼稚園、学校、社会で支援の必要がある。能力をつぶしてはけません。
 - ・県はこれまでどの様に取り組んできたのか、今後どのように取り組んでいくのか。福祉部長に伺います。
 - △答弁者△福祉部長
- ⑥みぬま緑地と新見沼大橋
 - ・新見沼大橋有料道路の料金徴収期間4年、無料化の見直しについて伺う。
 - △変な答弁であれば、答弁しないでいいんだよ。
 - △答弁者△県土整備部長



③大学附属病院の建設 「大学附属病院の建設」について。とっても重要な事業なので大野知事におたずねします。

さいたま市緑区の美園地区では、埼玉高速鉄道の浦和美園駅と埼玉スタジアム2002を中心に、文化・スポーツ機能と商業・業務機能を兼ねた魅力ある新市街地を形成するために堂々と区画整理が進められて来ました。その中にあって、順天堂大学附属病院の建設が、さいたま市緑区、岩槻区の住民にとって街づくりの一環として期待の大きな事業です。

しかし、建設予定地は柵で囲まれ、「建設予定地」の表示看板があるもの、未だ建設に向けた具体的な動きが一向に見えてこない。「本日に病院が建つのだろうか?」と心配する声と共に、あきらめの誘致が地元民のあちこちから聞こえてきます。この大病院の誘致は、我々自民党県議団が国の岩盤規制である病床規制に風穴を開けて、実現に向けて進んできました。以来10年、もっと早く開業していれば、今回のコロナ禍においても陽性患者の受け入れ医療機関として大いに役に立ったのではないのか。いつまで、日本一医師の少ない県に甘んじなくてはならないのか?本日に歯がゆい思いです。

そんな中、執行部より基本設計及び実施設計が当初予定より前倒しになったとの報告があった。

「一歩一歩前進しているとは思いますが、まだまだ予断を許さないと考えます。800の病床を有する大きな病院です。令和9年11月までの開院は実際のところかなり厳しいスケジュールのはずですので、まして、大学院、看護学部を併設する大きなプロジェクトです。今後の進捗がとも気になります。先月公開された「順天堂浦和美園キャンパス(仮称)等整備事業に係る環



病院建設地 / 緑区美園

境影響評価計画書」によると、新病院には、AIやロボティクス、遠隔医療、陽子線治療など最先端の医療テクノロジーを駆使した機能が整備予定であり、埼玉県民が誇りに思う高機能な医療機関を目指すとしています。

また、私が日頃主張しているグローバルな人材育成にも触れています。年齢に関係なく国内外の幅広い有能な人材が集まる大学院、研究施設を併設するとしています。

私は、5年前の平成29年度12月の定例県議会において「県北地域にも高度医療」を、質問させていただきました。私にとっての埼玉県内は、すべて地元なんです。ここでは、埼玉県で不足する医師の育成・派遣が可能となる施設・機能の充実を図るとされている。正に医師派遣の拠点、キャンパスの名に値する施設なのだ。

順天堂大学には、ここまで遅れた計画を、責任を持って着実に進めていただきたい。しかし、この壮大な計画を進めるにあたっては、さいたま市や地域の医療関係者をはじめ、様々な関係者との調整が必要不可欠なことだ。

学校法人の事業とことえ、学校法人任せにするのは適当ではない。「県は支援する立場!」との言い訳は聞きたくない。事業の進行管理は、本県の医師不足を解消するための医師派遣の拠点として、大学附属病院を誘致した執行部の責任がある。計画実現のためには、県はよほど腹を据えてからなければならぬ。

そこで、順天堂大学浦和美園キャンパス整備を、今後着実に進めるために、知事の決意をお示し頂きたい。

大野知事答弁

順天堂大学の新病院は、当初平成32年度すなわち令和2年度末開院の予定でしたが、令和4年4月に県承認の計画より、現在基本設計に着手するなど、令和9年11月の開院を目指し準備を進めているところであります。

今後、この整備計画を遅滞なく、スケジュール通りに着実に進めるために、進行管理こそ大学が責任を負うべきであり、県がしっかりと進捗を把握し、関係者間の調整を行って参ります。

例えば、砂川副知事に指示し、さいたま市副市長と毎月連絡会議を行い、病院整備計画の進捗状況について互いに情報共有することで、病院建設が計画通り進捗するように調整しております。

また、さいたま医療圏の地域医療構想調整会議に大学をオブザーバーとして招き、現時点から開院後に提供する医療について協議して頂くことにより、地域の医療関係者と調整を図り、円滑な委員会につなげて参ります。

議員ご指摘の通り、地域の方はもとより、医師派遣の実現により県民の暮らせる期待は大変大きいものがあります。

大学側からも地域の方に喜んでいただけるような病院を作りたいという話を伺っています。

開院に向けた整備スケジュールは大変厳しいものではありませんが、プロジェクトの実現に向け、大学に対し着実な病院整備を要請するなど県民の期待に応えるため全力で取り組んで参ります。

大野知事と高橋政雄 知事室

